

## 中国の大地震の原子力関係の影響について（8）

20.6.3 13:30

原産協会国際部

四川省にある原子力施設への地震の影響について、関係機関ホームページを通じて得た続報を以下の通りお伝え申し上げます。

### 関係機関ホームページ情報

#### (1) 中国原子力産業協会（中国核能行業協会、CNEA、北京）

2008-6-2 08:43（中文概要仮訳）

- ・ 5月12日四川大地震は、当地の人々の生命、財産に巨大な損失を与えた。党中央、国務院は、政府関係部門の幹部、原子力企業の責任者の力を地震対策、救済活動に傾注している。このため当協会は、5月19日緊急通知を出し、5月21日北京で開催予定であった「当協会2008年会」と「中国の原子力エネルギーの持続的発展フォーラム」を延期した。
- ・ 党中央、国務院は、「一方で地震対策、救済活動、一方で経済社会の発展」の精神に基づいて検討し、「2008中国原産協会年会」と「中国の原子力エネルギーの持続的発展フォーラム」を来る6月17日～18日、北京で開催することとした。
- ・ プログラム：6月17日午前 「年会」  
同日午後と18日終日「フォーラム」  
場所：北京国誼賓館

#### (2) 国家環境保護部（省）

2008-6-3

「陝西省環境保護局 地震対策・災害救済 作業記録」（中文概要仮訳）

- ・ 5月12日  
14:28 マグニチュード8の地震発生
- ・ 同日  
15:30 局長の指示により、緊急計画発動。市・県環境保護局と連絡、情報交換。モニタリング、監督、放射線管理担当者に地震対応、突発的事故に備え緊急準備指示。
- ・ 同日  
19:10 局長より各市の所轄区内の被災状況の迅速な調査を当直室に指示。
- ・ 5月13日  
午前 環境保護部（省）通達（（2008）2号）を受け、省の放射線ステーションが全

\_\_\_\_ 省の民生原子力施設、照射装置利用企業を検査。検査結果によれば、異常なし。

・ 同日

午前 環境保護部（省）通達（（2008）2号、3号）、省政府通達（（2008）2号）に照らし、全省環境保護部門から「地震災害2次環境汚染の防止と対応に関する緊急通知」。原子力・放射線部の責任者も含む「陝西省環境保護局の地震対応救済緊急指導グループ」を設置。

・ 5月14日

15:00 省環境保護局は、党組織の拡大会議を開催。「省環境保護局地震対策救済指導グループ」を設置し、その下に、放射線監督緊急対応チームを置いた。

・ 5月15日

午前 局長らが、省モニタリングセンター、放射線環境監督センターに到着、緊急対応モニタリング設備を検査。

・ 5月16日

08:30 省環境保護局の放射線環境モニタリングステーション所長などから成る四川先遣隊が、世界一流レベルの放射線計測器を持って出発。当地の環境汚染緊急対応作業を支援するとともに、地震で紛失した可能性のある放射線源を搜索。

・ 同日

午前 先遣隊は、省環境監督局、省モニタリングセンター、省放射線環境モニタリングステーションとともに現場活動。

・ 5月22日

午後 先遣隊が任務を終え戻る。持参した計測器、車輛、後方支援物資は役立った。放射線源を利用する38の企業・機関の85の放射線源（うち、1類放射線源は3、2類は18、3類は12、4類は9、5類は43）を捜査し、8を安全に回収した。

以上